2025年６月27日

各　位

会　　社　　名　株式会社　ミダックホールディングス
代 表 者 名　代表取締役社長　　加藤　恵子
（コード番号：6564　東証プライム・名証プレミア）
問 合 せ 先　取締役経営企画部長　　髙田　廣明
電 話 番 号　053-488-7173

中期経営計画の進捗に関するお知らせ

当社は、2022年６月28日に公表した「長期ビジョン及び中期経営計画策定に関するお知らせ」のとおり、2023年３月期から2027年３月期までの中期経営計画を策定しておりますが、同期間におけるこれまでの進捗状況について、添付資料のとおりお知らせいたします。

以上

水・大地・空気をみらいにつなぐ

ミダックグループ10年ビジョン

Challenge 80th実現に向けた
中期経営計画の進捗

経営理念

ミダックグループは、水と大地と空気そして人、すべてが共に栄る
かけがえのない地球を次の世代に美しく渡すために、
その前線を担う環境創造集団としての社会的責任を自覚して、
地球にやさしい廃棄物処理を追求してまいります。

ミダックグループは、2022年に長期ビジョンを策定し、
その実現に向けた積極的な経営を推し進めています。

ミダックグループ10年ビジョン
『Challenge 80th』

業界屈指の総合廃棄物処理企業への進化を推し進め、業界を代表する真のリーダーを目指す。

ミダックグループの挑戦

『Challenge 80th』実現に向けた挑戦は、現在、第1次中期経営計画の3年目を終えた段階にあります。

2023年3月期から5か年

第1次中期経営計画

【位置づけ】
成長加速のための基盤づくり

2028年3月期から5か年

第2次中期経営計画

【位置づけ】
成長加速による業界屈指の地位確立

ミダックグループ10年ビジョン『Challenge 80th』

業界屈指の総合廃棄物処理企業への進化を推し進め、業界を代表する真のリーダーを目指す。

『Challenge 80th』実現に向けた成長戦略

基本方針

私たちの強みを追求しながら
事業エリアの拡大を推し進める

成長を加速

投資方針

オーガニック投資とM&A投資の両輪で
成長投資を積極的に推し進める

『Challenge 80th』実現に向けた成長戦略　重点施策

強みの基礎である「一貫処理体制」の総合的な強化に向けて…

【重点施策②】
中間処理施設の増強
＊「焼却」、「水処理」など

【重点施策①】
最終処分の優位性拡大
＊「最終処分」＝「コア事業」と位置づけ

一貫処理体制

収集運搬 → 中間処理 → 最終処分

産業廃棄物

協力先への廃棄物処理依頼（仲介管理） → 協力先での
リサイクルや埋立

一般廃棄物 → 収集運搬 → 市町村の
焼却施設等

【重点施策③】
収集運搬の面展開強化

成長戦略の進捗状況　…　一部をご紹介

最終処分の優位性拡大 に向けた成長投資の進捗

- オーガニック投資により、最終処分場の許可取得を計画
- 当社ならではの「支援型M&A」投資を実施
- M&A投資により、最終処分場の周辺事業を営む企業を傘下に

収集運搬の面展開強化 に向けた成長投資の進捗

- M&A投資により、三重県に本拠を置く企業を傘下に

成長戦略の進捗状況　…　一部をご紹介

最終処分の優位性拡大 に向けた成長投資の進捗

- **オーガニック投資により、最終処分場の許可取得を計画**
- 当社ならではの「支援型M&A」投資を実施
- M&A投資により、最終処分場の周辺事業を営む企業を傘下に

収集運搬の面展開強化 に向けた成長投資の進捗

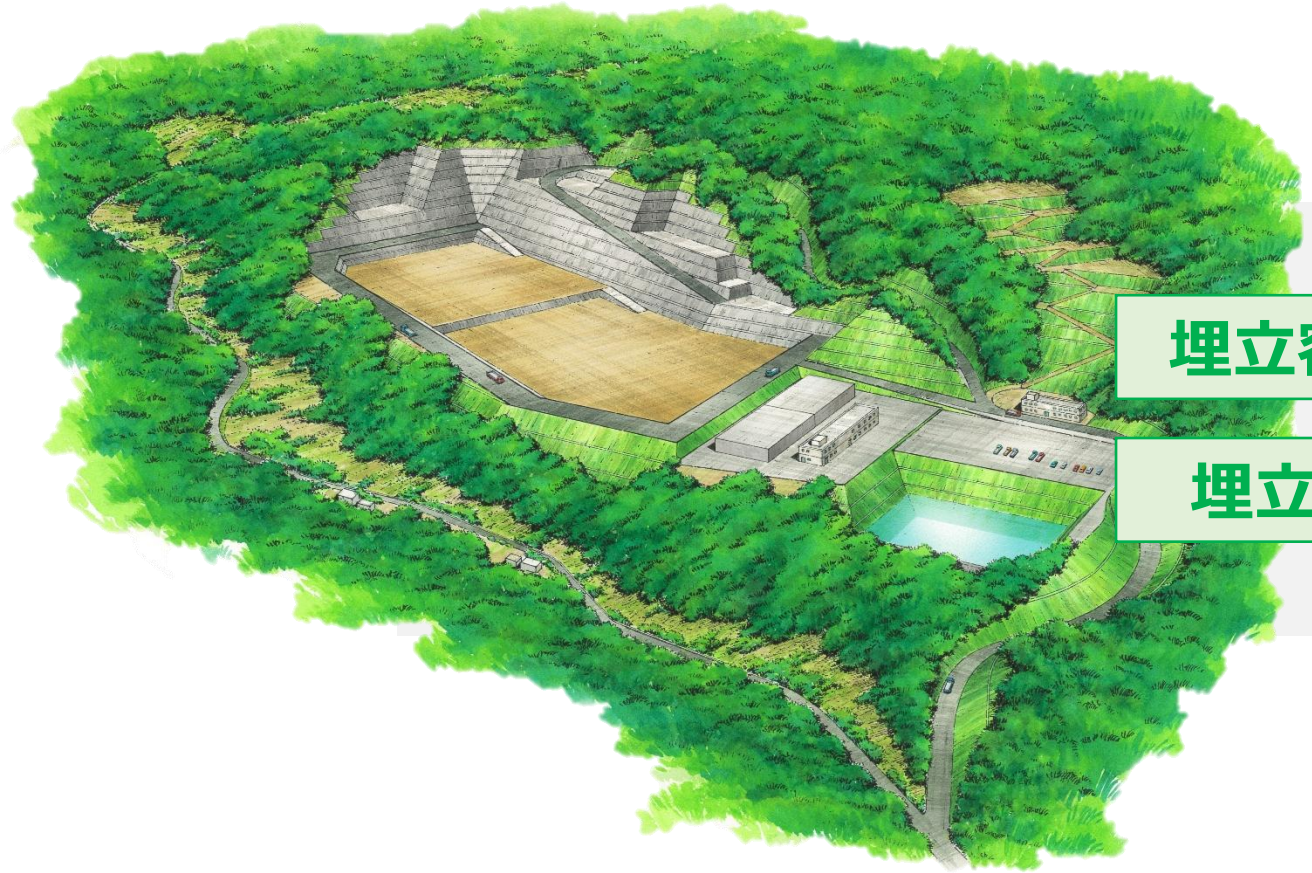
- M&A投資により、三重県に本拠を置く企業を傘下に

1

東日本エリアで開発を進めてきた2か所について公表

福島県郡山市 最終処分場（管理型）

東北地区で大型の最終処分場の開業に向け準備を進める



埋立容量：161万㎥

埋立期間：約17年

東日本エリアで開発を進めてきた2か所について公表

2 栃木県那須塩原市 最終処分場（管理型）

関東地区で大型の最終処分場の開業に向け準備を進める

埋立容量：約230万㎥

埋立期間：約20年

島根県邑智郡美郷町 最終処分場（管理型）

西日本エリアの埋立需要に対応するべく、島根県にて用地を取得

成長戦略の進捗状況　…　一部をご紹介

最終処分の優位性拡大 に向けた成長投資の進捗

- オーガニック投資により、最終処分場の許可取得を計画
- **当社ならではの「支援型M&A」投資を実施**
- M&A投資により、最終処分場の周辺事業を営む企業を傘下に

収集運搬の面展開強化 に向けた成長投資の進捗

- M&A投資により、三重県に本拠を置く企業を傘下に

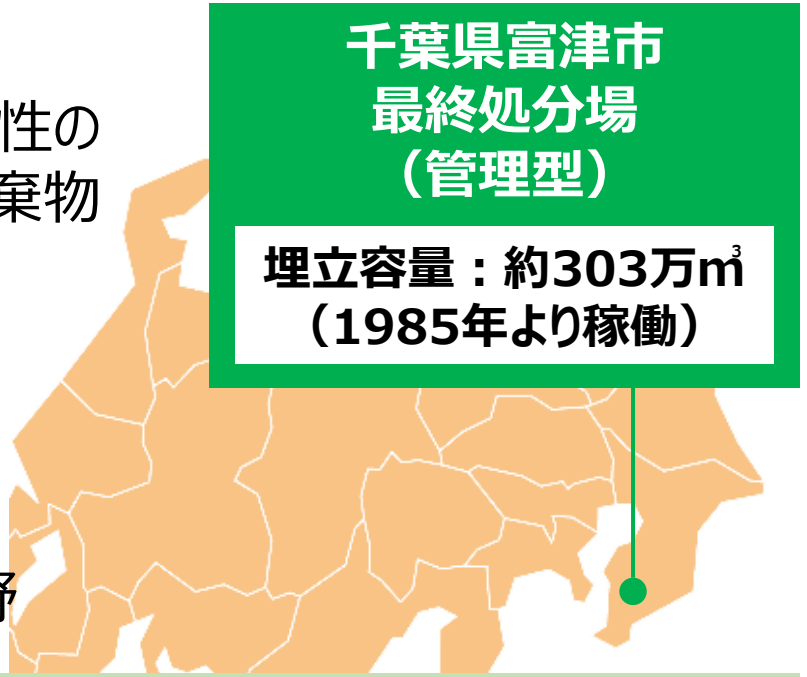
大平興産株式会社

同社子会社化により、関東圏への事業エリア拡大を実現

【同社の概要】

- 廃棄物の適正処理、科学的で環境効率性の高い廃棄物処理体系の実現を目指す廃棄物処理業者
- 産業廃棄物処理業者として国内初となるISO14001取得（1997年）
- 千葉県内で管理型最終処分場を運営

  ⇒ 長期的に最終処分場の拡張も視野



「支援型M&A」のビジネスモデル確立

最終処分場を取り巻く課題

【社会的課題】

- 最終処分場の慢性的な不足
  （残存容量の逼迫）
- 持続可能な地域社会づくり
  （環境負荷軽減ニーズの高まり）

【業界的課題】

- 最終処分場経営の難しさ
  （適切な事業運営の難しさ）
- 埋立完了後も維持管理が必要
  （事業継続の難しさ）

「支援型M&A」の重要性拡大

当社グループが推し進める「支援型M&A」とは…

【社会的課題】と【業界的課題」に的確に対応して…

最終処分場の長寿命化を実現

業界での豊富な経験と実績

- 最終処分場の適切な運営ノウハウ
- 最終処分場の負担軽減に繋げる中間処理施設の運営

安定した財務基盤と資金力

- 安定した財務基盤により、資本的支援や経営資源の提供が可能

M&A後の事業継続支援

- 豊富なM&Aの経験を基礎に、M&A後のPMI（統合プロセス）を的確に行い、安定した事業継続支援が可能

「支援型M&A」投資に注力

社会および業界の課題解決に貢献する当社グループ独自のM&A推進を強化

成長投資により、事業エリアの拡大が着実に進展

「支援型M&A」によって拠点拡大を加速させ、
中長期的な最終処分場の処理能力の大幅増強を目指す

島根県邑智郡
美郷町
最終処分場
（管理型）

＊オーガニック投資による用地取得

栃木県
那須塩原市
最終処分場
（管理型）

＊オーガニック投資による用地取得

福島県郡山市
最終処分場
（管理型）

＊オーガニック投資による用地取得

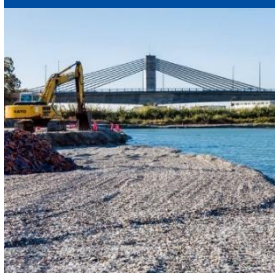
＊M&A投資による処分場取得

千葉県富津市
最終処分場
（管理型）

奥山の杜CC

遠州CC

浜名湖CC



成長戦略の進捗状況　…　一部をご紹介

最終処分の優位性拡大 に向けた成長投資の進捗

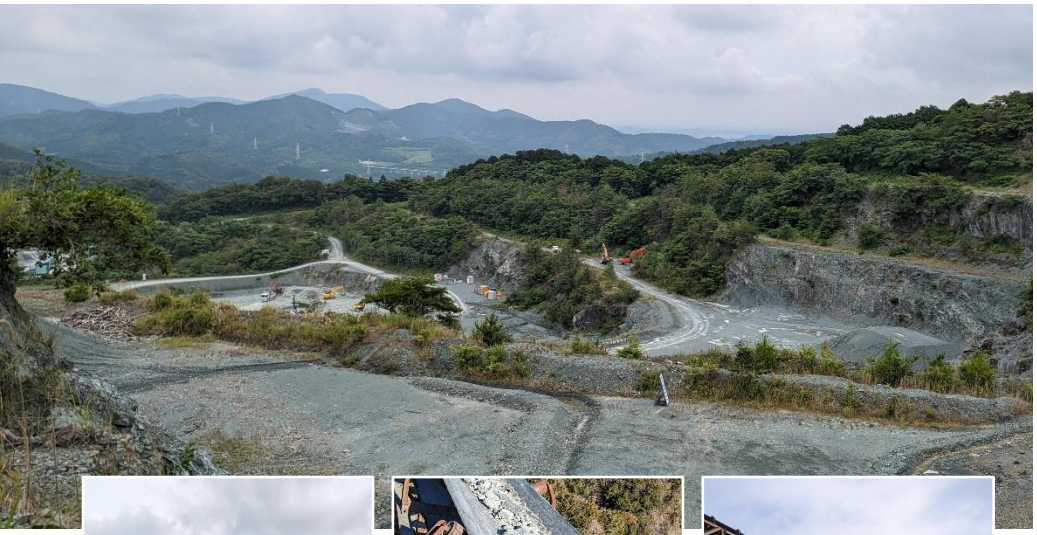
- オーガニック投資により、最終処分場の許可取得を計画
- 当社ならではの「支援型M&A」投資を実施
- **M&A投資により、最終処分場の周辺事業を営む企業を傘下に**

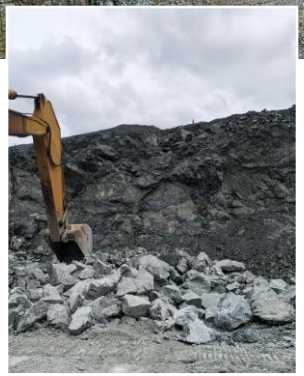
収集運搬の面展開強化 に向けた成長投資の進捗

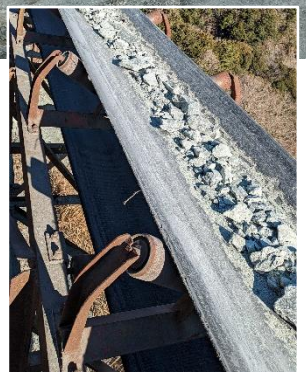
- M&A投資により、三重県に本拠を置く企業を傘下に

遠州砕石株式会社

奥山の杜CCから排出される残土処分の内製化を目的にグループ傘下へ







＜砕石製造業＞

- 1967年設立
  - ⇒ 砕石製造業における60年近い業歴
  - ⇒ 多くの地元建設・建材業者との繋がり

＜残土処分事業＞

- 2024年4月までに、残土処分業に必要となる手続きを実施し、当社グループとの連携業務開始
  - ⇒ 奥山の杜CC第2～4期工事で排出される残土処分を同社に委託

成長戦略の進捗状況　…　一部をご紹介

最終処分の優位性拡大 に向けた成長投資の進捗

- オーガニック投資により、最終処分場の許可取得を計画
- 当社ならではの「支援型M&A」投資を実施
- M&A投資により、最終処分場の周辺事業を営む企業を傘下に

収集運搬の面展開強化 に向けた成長投資の進捗

- **M&A投資**により、三重県に本拠を置く企業を傘下に

株式会社フレンドサニタリー

一般廃棄物収集運搬事業の業容拡大と収益力向上を目的に、グループ傘下へ

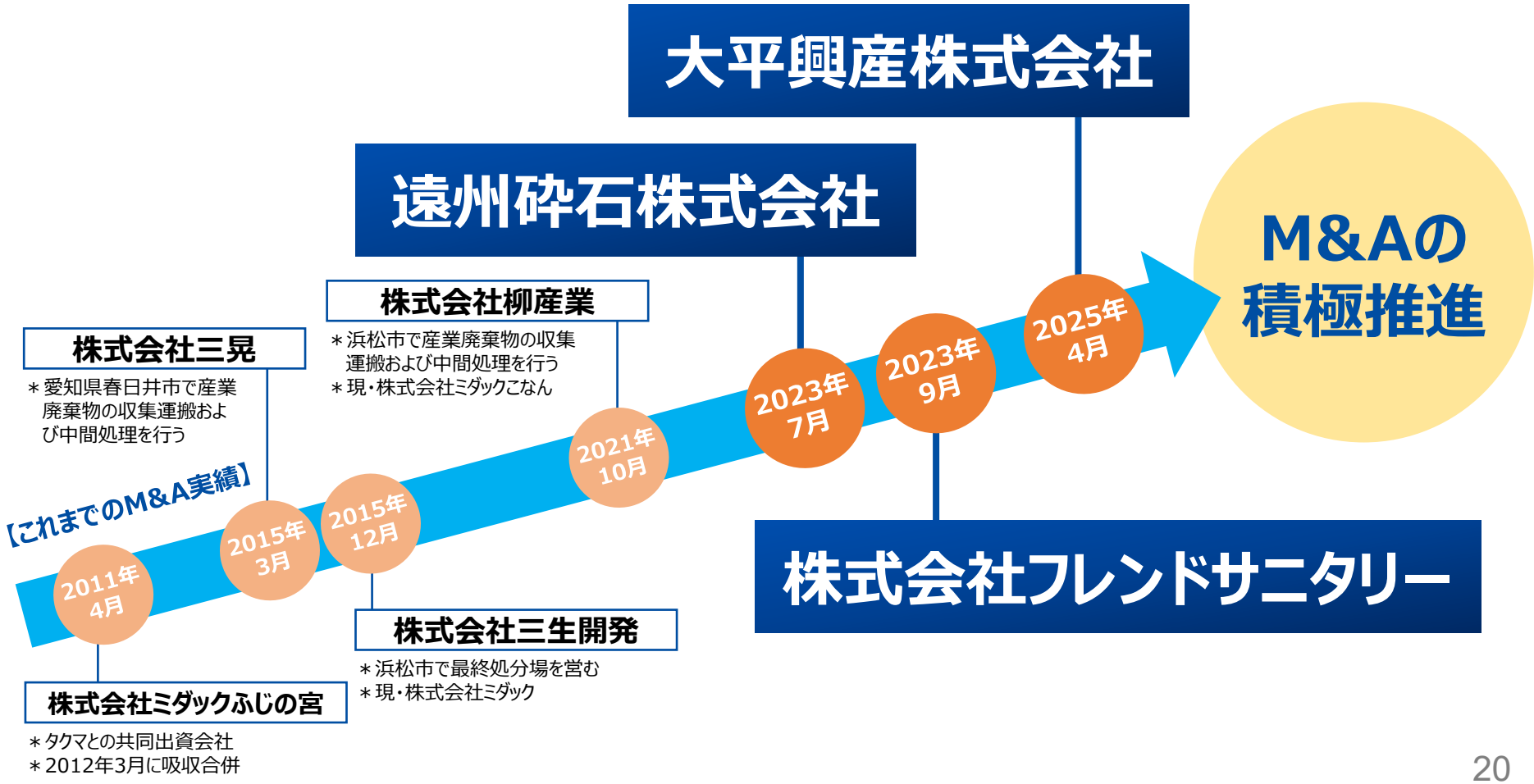
- 三重県津市を本拠とする
  ⇒ 一般廃棄物収集運搬事業におけるグループとしての事業エリア拡大へ

【事業内容】（主軸）

・し尿汲取り及び浄化槽汚泥の清掃業務
・浄化槽点検及び維持管理業務
・家庭系一般廃棄物の収集運搬業務

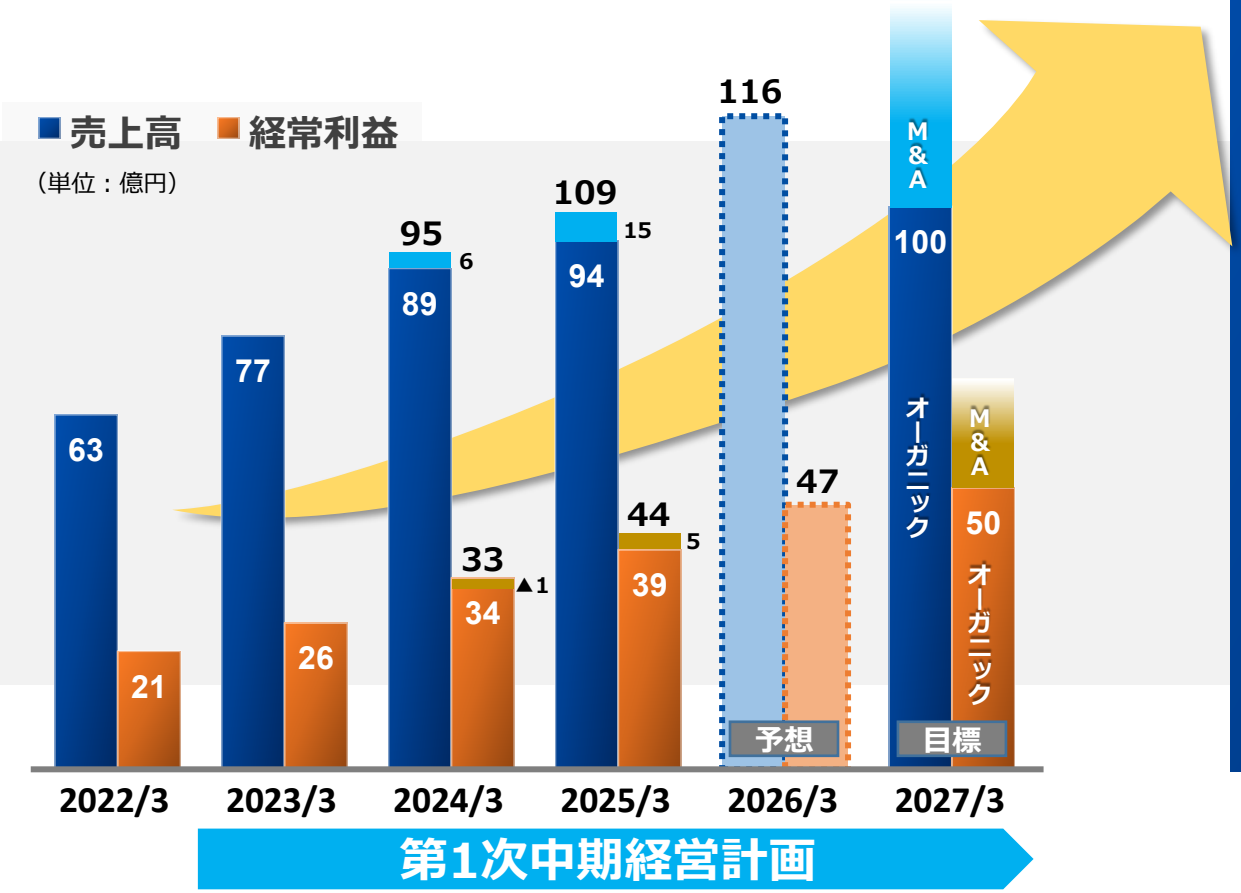
本中計期間におけるM&Aの状況

これまでのM&A実績を基礎に、第1次中計期間では既に３社のM&Aを実現しました。



『Challenge 80th』実現に向けて…

トップラインは既に100億円を超え、次の中期経営計画を見据えた成長投資をさらに加速させていく段階に入ってきました。



注）2026/3期は（予想）の数字は、オーガニックとM&Aの分解をしておりません。

ミダックグループ10年ビジョン
『Challenge 80th』

業界屈指の総合廃棄物処理企業への進化を推し進め、業界を代表する真のリーダーを目指す。

2032年3月期
チャレンジ目標
（M&A含む）

【売上高】400億円

【経常利益】120億円

ミダックグループ10年ビジョン

『Challenge 80th』

業界屈指の総合廃棄物
処理企業への進化を推し進め、
業界を代表する真のリーダーを目指す。